



株式会社フォーバル、グループ5社が 市場ニーズに適合した新しい環境の認証制度「CN2050」を取得

～脱炭素経営と温室効果ガスの全量オフセットを目指して、持続可能な未来への一歩～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、3月1日付で、フォーバルテレコムをはじめとしたグループ5社（株式会社フォーバルテレコム、株式会社トライ・エクス、株式会社 FISソリューションズ、株式会社保険ステーション、タクトシステム株式会社）が、一般社団法人 脱炭素経営支援協会（所在地：東京都大田区 代表理事：南谷 幸男）が制定した、企業による脱炭素経営とカーボンニュートラルの取り組みを評価する認証「CN2050」を取得したことをお知らせします。



「CN2050」取得の背景と目的

近年、温暖化による「異常気象」や「干ばつ」、「海面上昇」など、環境問題は顕在化、深刻な状況を呈し、我が国の企業においても脱炭素経営の推進は、喫緊の課題となっております。

今回取得したグループ5社はESG経営の枠組みの中で、オフィスの需給電力を100%再生可能エネルギーに切り替えるとともに、企業活動から排出される温室効果ガスをカーボンクレジットを活用して全量オフセットなど、環境問題の解消に取り組んでおります。

これらの取り組みによる企業価値を明確にするために、ステークホルダーに向けて「CN2050」を取得いたしました。

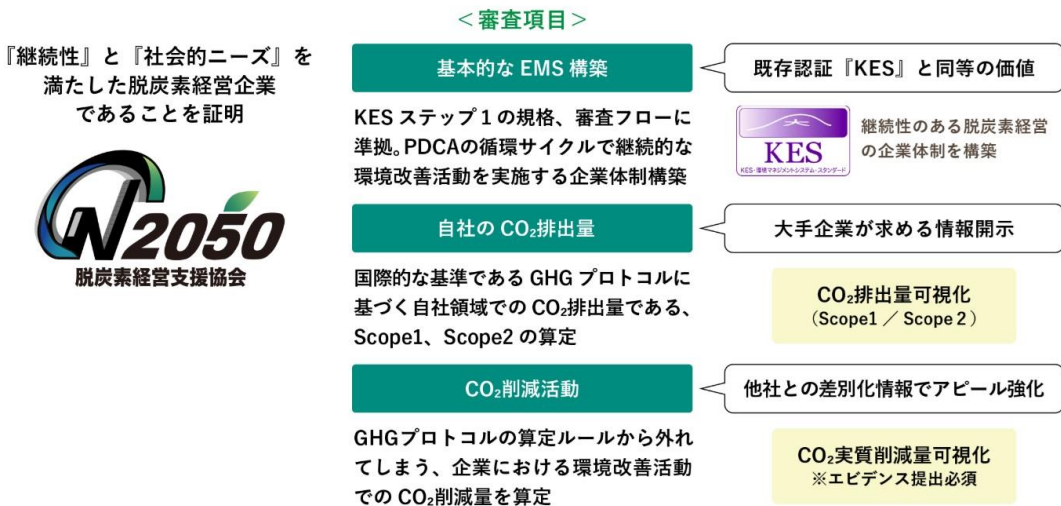


「CN2050」 認証制度について

本認証制度は、我が国が目指す「カーボンニュートラル2050」の実現に必要な、企業による対応項目を網羅し、認証する制度です。

ISO 14001等の環境マネジメントシステムの主要要求事項に準拠したKES・環境マネジメントシステムに基づき、継続的な脱炭素経営に向けた体制の構築と運用、および可視化したCO₂排出量を指標とした、評価と認証を行います。 [「CN2050」について](#)

市場ニーズに適合した新しい環境の認証制度『CN2050』



株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」であるフォーバル（資本金：41億5000万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって持続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>

【本件に関する報道関係のお問合せ先】

フォーバルPR事務局（株式会社アンティル内）

TEL：03-6821-7863 FAX：03-6685-5265 MAIL：forval_pr@vectorinc.co.jp